



広域だより

vol. **81**
2015.12.15



煙で前が見えない！

10月11日、よしおかふるさと祭りの会場に消防本部が煙体験ハウスを設置しました。煙体験ハウスは、煙の恐ろしさを知り、正しい避難方法を体験することができます。訪れた子供たちは、「煙で前が見えない」と話し、煙の怖さを経験したようでした。

当日は、消防車の乗車体験も行いました。

目次(主な内容)

- ・ 清掃センターへのごみの持ち込みはお早めに………2
- ・ 住宅用火災警報器を設置しましょう ……………3
- ・ 渋川広域消防本部 訓練報告 ……………4
- ・ 防火ポスターコンクール ……………5
- ・ 平成26年度決算報告 ……………6
- ・ 緊急消防援助隊 活動報告 ……………7
- ・ インフォメーション ……………8

年末は家庭から出るごみが多くなります

清掃センターへの

ごみの持ち込みは

お早めに



▲直接搬入車両の渋滞の様子

年末は、家庭や事業所から持ち込まれるごみの量が非常に多くなります。早めの搬入にご協力をお願いします。また、少量の家庭ごみの場合は、ごみステーションへの搬出をお願いします。

●ごみ処理手数料

20キログラムあたり300円

●搬入できる日

月曜日から金曜日

※月～金の祝日も搬入できません。

※年末年始の休みは8Pに記載しています。

●搬入受付時間

午前8時30分～12時

午後1時～4時30分

※午前中は12時、午後は4時30分には退場できるように余裕をもって、搬入してください。

家庭ごみを直接持ち込む場合の注意事項

- 清掃センターの受付窓口で、免許証、保険証などの住所が確認できるものを提示し、申請手続きを行ってからごみを搬入してください。
- 燃えるごみ、燃えないごみなど種類ごとに下ろす場所が分かれております。下ろしやすいよう事前に分別してください。
- 持ち込む場合、指定袋に入れる必要はありません。
- 直接搬入する場合、指定袋に入れてあっても有料になります。
- 持ち込む場合でも、受入できないごみや受入制限を実施しているものがありますので注意してください。

受入できないもの

ガスボンベ、タイヤ、農薬缶、塗料、農業用ビニール、農機具、建設廃材、バッテリー、バイク、テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、乾燥機、パソコンやパソコンのディスプレイなど。



受入条件のあるもの

- 剪定枝
太さ10cm以内、長さ50cm以下、軽トラック1台分まで、家庭の庭木を剪定したものに限りです。
- 畳
1回10枚まで受入できます。
- スプリング入りマットレス及びソファ
解体し、燃えるものと燃えないものを分別してから持ち込んでください。



※スプリングを取り出し分別してあれば、本体・スプリングともに持ち込みが可能です。

※そのほかにも機械の故障原因となるものや、大量のものについても搬入制限を実施しているものがあります。各市町村役場から配布されている「ごみ収集カレンダー」などをご覧ください。搬入されますようお願いいたします。

問い合わせ先

清掃センター ☎23-0460

安心して眠れるように 住宅用火災警報器を設置しましょう

●住宅火災から大切な「いのち」を守るために

「住宅火災」により、全国で毎年約 1,000 人の方が亡くなっており、その原因の多くは「逃げ遅れ」です。
住宅用火災警報器は火災の煙を早期に感知して、あなたやあなたの家族の「いのち」を守ります。

●住宅用火災警報器の普及状況

渋川広域管内では、平成 20 年 6 月からすべての住宅に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられています。
しかし、渋川広域管内における住宅用火災警報器の設置普及率は、平成27年 6 月 1 日現在70%という結果が出ており、全国の81% を大幅に下回っています。空気が乾燥し、火災が心配されるこの時季、まだ設置していない住宅は早急に設置しましょう。

設置場所などにつきまして、ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

問い合わせ先

渋川広域消防本部 予防課 ☎ 25 - 4193



- 取付が義務付けられているところ（寝室・階段）
- 取付をおすすめするところ（台所・居室）

たかさき消防共同指令センターの運用開始について

平成27年10月1日にたかさき消防共同指令センターが運用開始し、119番通報の切り替え工事が完了しました。これにより現在の119番通報は、たかさき消防共同指令センターで受付を行っています。

たかさき消防共同指令センターは、群馬県内6消防本部が共同で設置した機関です。同センターでは、県内6消防本部が管轄する市町村からの119番通報を一括して受付、通報内容などから災害地点、火災や救急、救助などの災害種別を決定、出動部隊を編成し、通報場所を管轄する消防本部の消防隊・救急隊等へ出動指令や現場活動の支援などを行います。



▲たかさき消防共同指令センターの様子

●火災テレフォンサービスの電話番号が0180-99-2226になりました。

たかさき消防共同指令センター運用開始に伴い、電話番号が変わりました。

火災テレフォンサービスは、管内で消防車のサイレンが聞こえたときに、どこで火災が発生しているか、火災の種別は何か聞く事ができるサービスです。この電話は、たかさき消防共同指令センターに繋がります。自動音声でお知らせします。

※火災時の消防車のサイレン音は「ウ～カンカンカン」、火災以外は「ウーウー」です。

渋川広域消防本部 訓練報告

多様化する災害に的確に対応するために、消防活動能力の向上を図り、日々訓練に取り組んでいます。

大規模地震想定・災害警備対応合同訓練

10月22日、解体予定である旧渋川警察署の建物を利用し大規模地震想定・災害警備対応合同訓練を実施しました。

訓練は、多数の逃げ遅れた人やけが人が発生したことを想定し、群馬県警察本部をはじめ、渋川総合病院DMAT・利根中央病院DMAT・済生会前橋病院DMAT・吾妻広域消防本部などの複数機関が連携し、迅速・的確な救助対象者の救出・救護活動が実施できるよう各隊の消防活動技術の向上を図りました。



▲応急救護所を設定したエアータント

●DMATとは、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの現場で、活動できる機動性を備えた災害派遣医療チームのことです。医師、看護師などから構成されています。



▲応急救護所でのDMATによる救命処置訓練



▲群馬県警と連携した救出活動訓練

平成27年度 新任消防職員1ヶ月集中訓練

渋川広域消防本部では、5人の新任消防職員に対して1ヶ月集中訓練を実施しました。

1ヶ月集中訓練とは、消防学校卒業後、各所属に配属する前の1ヶ月間実施する訓練のことです。消防学校の訓練で使用した車両、



▲訓練を受ける5人の新任消防職員

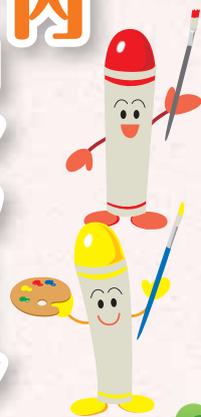


▲救急連携訓練の様子

▼
や資機材と渋川広域消防本部で使用しているものは、種類の違うものがあります。また、火災対応時のホース延長方法など、渋川広域消防本部独自で確立した技術があり、これらを早急に身につけるために、1ヶ月集中訓練を実施しています。

平成27年度

渋川広域圏内 防火ポスターコンクール



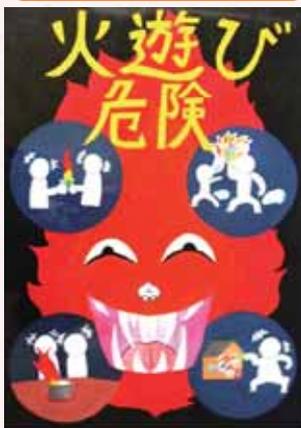
渋川広域消防本部では、住民の防火意識を高めるとともに、火災の恐ろしさに関心をもってもらうため、広域圏内の小・中学校に防火ポスターの募集をしたところ221点の応募がありました。

審査を行った結果、最優秀賞2点、優秀賞4点、入賞39点が入選しました。最優秀賞と優秀賞の受賞者は次のとおりです。

(敬称略・順不同)

小学生の部

最優秀賞



島 涼太
渋川北小学校 5年

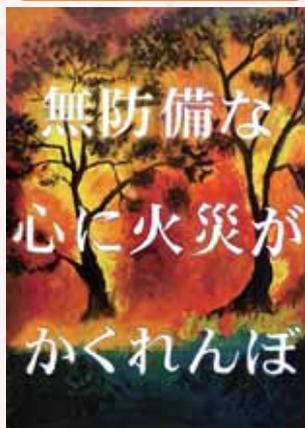
優秀賞

岸 あぐり
金島小学校 2年

大嶋 漣
津久田小学校 6年

中学生の部

最優秀賞



狩野 春菜
吉岡中学校 3年

優秀賞

内海 剣
渋川北中学校 3年

荒平 理玖
子持中学校 2年

一日救急隊長・一日消防長行事



▲救急活動訓練を見学する鈴木さん

9月8日、北毛保健生活協同組合北毛病院の事務長 鈴木由紀さんが一日救急隊長を務めました。

この行事は毎年、救急の日(救急医療週間)に合わせて実施し、多くの人に救急業務に対する関心と理解を深めてもらうために行っているものです。今年は初めて開院中の病院で行われました。

当日は、病院職員と連携し、梯子車を活用した救出訓練を取り入れた消防訓練を実施しました。

また、11月10日、群馬県渋川警察署巡査 松本奈穂美さんが一日消防長を務めました。

この行事は、秋の全国火災予防運動期間(11月9日から15日)に合わせて行っているもので、火災予防思想の普及を図り、火災による死傷者及び財産の損失を防ぐことを目的としています。

当日、松本さんは伊香保温泉石段街周辺で実施した火災想定訓練を見学した後、ご当地マスコットキャラクターのいしだんくんたちとともに火災予防の啓発活動を実施しました。



▲火災予防の啓発活動をする松本さん

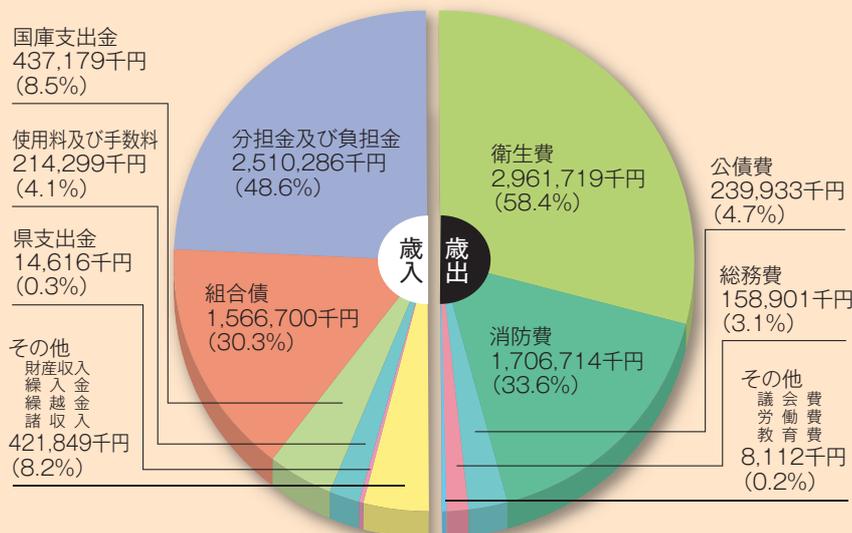
平成26年度決算報告

組合の財政状況をお知らせします

平成26年度の一般会計決算が、広域組合議会10月定例会で認定されました。
各事業の執行については、厳しい財政事情の中で、経費の節減を図りながら最大の効果が得られるよう効率的な執行に努めました。
一般会計の決算額は、歳入51億6,492万9千円、歳出50億7,537万9千円となりました。

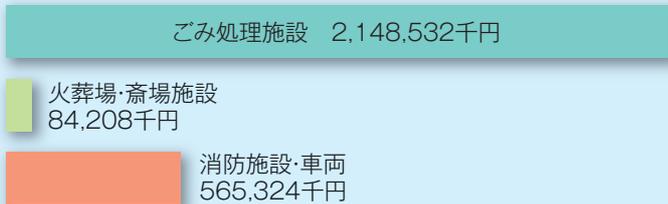
一般会計決算

歳入合計 5,164,929千円 歳出合計 5,075,379千円



組合の借入金について

借入金の残高 2,798,064千円 (平成27年9月30日現在)



互助会(職員共済会)に対する助成の状況

(平成26年度)

項目	金額等
①互助会に対する助成金の額	1,416千円
②会員による掛金の額	2,169千円
③公費負担率①/(①+②)	39.5%

※助成金は、職員の健康管理対策(人間ドック費用の一部助成)と職員の団体保険掛金(死亡弔慰金)に使われています。

主要事業の成果について

ふるさと市町村圏事業

渋川地区広域圏が一体となって魅力あるふるさとづくりを行うため、広報「広域だより」を発行し、圏域の行政情報を提供しました。

また、構成市町村の特徴ある緑化および花いっぱい運動などに助成を行うグリーンフラワー事業を実施しました。

防火活動推進事業として懸垂幕、横断幕、火災予防運動ポスターなどを作成し、防火に対する意識の高揚を図るため掲示を行いました。

救急医療事業

休日在宅当番医制、歯科在宅当番医制、病院群輪番制および夜間急患診療所を渋川地区医師会と渋川北群馬歯科医師会の協力を得て実施し、圏域住民の常時診療体制の確立に努めました。

火葬場・斎場事業

平成26年度から、「渋川広域斎場しらゆり聖苑」の管理運営を指定管理者に移行し、圏域住民が利用しやすい施設となるよう努めました。

ごみ処理事業

清掃センターでは、ごみ処理業務の円滑な運営を図るため、運転管理業務のすべてを民間委託するとともに、各設備機器の点検整備を行いました。

また、施設稼働後21年が経過し付属機器等の老朽化が進んでいたため、各種機器の補修及び更新工事を行いました。リサイクル施設においては、びん類とペットボトルの再資源化に努めました。

継続事業として実施した新最終処分場建設工事が、平成26年12月に終了しました。

し尿処理事業

環境クリーンセンターの処理業務の効率化、安定化を図るため、運転管理業務を継続して民間委託するとともに、各設備機器の点検整備を行いました。

消防救急事業

圏域住民が安心して暮らせるまちづくりをめざして、各種火災予防施策を実施しました。車両では、北分署の高規格救急自動車を更新し、消防救急態勢の充実強化に努めました。

県内6消防本部等で実施している消防救急無線共同整備等では、平成28年度本運用に向け無線施設等整備、消防共同指令センター庁舎改修、指令機器等整備を実施しました。

教育関係事業

圏域住民の健全なレクリエーションの場として利用される、広域圏プールなどの運動施設の管理に努めました。

群馬県緊急消防援助隊

活動報告

●緊急消防援助隊とは

阪神・淡路大震災を教訓に全国の消防機関による消防応援を迅速・円滑に実施するため、緊急消防援助隊制度が平成7年度に発足しました。

平成16年4月には消防組織法により法律に基づいた部隊となり、現在では、全国742消防本部から4,894部隊が登録されています。



▲DMATと連携した救急車への搬送活動

大規模水害が発生した茨城県常総市へ、総務省消防庁長官からの要請により救助活動を支援するため、9月11日から9月17日まで群馬県緊急消防援助隊が出動しました。

渋川広域消防本部は、第2次派遣隊として救急隊1隊3名、後方支援隊1隊3名を派遣し、第5次派遣隊として消火隊1隊5名、後方支援隊1隊3名を派遣しました。

第2次派遣隊は、浸水した病院から患者及び職員救出活動を実施し、第5次派遣隊は、主に捜索活動を実施しました。



▲浸水エリアの捜索活動

全て基準値を下回っています

1. 清掃センター焼却灰・ばいじん (埋立基準：8,000Bq/kg以下)

対象試料	試料採取日	核種		放射能濃度合計
		セシウム-134	セシウム-137	
焼却灰	H27.9.1	検出せず	45	45
ばいじん	H27.9.1	55	250	305

2. 清掃センター排ガス (空気中の濃度限度 セシウム-134：20Bq/m³ セシウム-137：30Bq/m³)

対象試料	試料採取日	採取媒体	核種	放射能濃度	放射能濃度合計	検出限界値
排ガス (1号炉) (2号炉)	H27.9.1	ろ紙部	セシウム-134	検出せず	検出せず	2Bq/m ³
			セシウム-137	検出せず		
	H27.9.2	ドレン部	セシウム-134	検出せず	検出せず	
			セシウム-137	検出せず		

3. 小野上処分場放流水等 (公共水域の濃度限度 セシウム-134：60Bq/L セシウム-137：90Bq/L)

対象試料	試料採取日	核種		放射能濃度合計	検出限界値
		セシウム-134	セシウム-137		
放流水	H27.9.2	検出せず	検出せず	検出せず	10Bq/L
地下水	H27.9.2	検出せず	検出せず	検出せず	2Bq/L

放射能測定結果

ダイオキシン類測定結果

清掃センター、小野上処分場の放射能濃度及びダイオキシン類測定結果

1. 清掃センター

対象試料	試料採取日	測定結果(毒性等量)	基準値
焼却灰	H27.7.29	0.00023ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
排ガス(1号炉)	H27.7.28	0.0026ng-TEQ/m ³ N	1ng-TEQ/m ³ N
〃(2号炉)	H27.7.29	0.0093ng-TEQ/m ³ N	

2. 小野上処分場

対象試料	試料採取日	測定結果(毒性等量)	基準値
放流水	H27.7.29	0.00022pg-TEQ/L	10pg-TEQ/L
地下水(上)	H27.7.29	0.32pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L
地下水(下)	H27.7.29	0.041pg-TEQ/L	

3. 榛東処分場

対象試料	試料採取日	測定結果(毒性等量)	基準値
放流水	H27.7.29	0.0010pg-TEQ/L	10pg-TEQ/L
地下水	H27.7.29	0.052pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

4. エコ小野上処分場

対象試料	試料採取日	測定結果(毒性等量)	基準値
地下水(下)	H27.7.29	0.057pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L



年末年始の休み

●清掃センター ☎23-0460

12月30日(水)から1月3日(日)まで休みになります。

●環境クリーンセンター ☎23-3007

し尿等汲み取りの許可業者は下記のとおり休みになります。
年末のし尿汲み取りは、早めに許可業者へ依頼をしてください。

許可業者名	電話番号	休業日
(有) 渋川衛生社	☎22-0923	12/29～1/4
(有) 関東清掃社	☎22-0294	12/29～1/4
伊香保運送(有)	☎72-2434	12/29～1/3
(有) 北群馬衛生社	☎54-2768	12/29～1/5
(有) 群馬サポート	☎54-2322	12/27～1/4

※伊香保運送(有)については伊香保地区内のみ、(有)群馬サポートについては榛東村内のみの取り扱いとなります。

●しらゆり聖苑(火葬場・斎場) ☎30-3331

1月1日(金)から1月3日(日)まで休みになります。

なお、12月31日(木)の通夜式は行えません。
火葬や施設利用の予約は、上記休みに関係なく24時間電話で申込みができます。

小動物の火葬予約は、午前8時30分から午後5時15分までです。

夜間急患診療所を ご利用ください

夜間急患診療所は、
渋川市社会福祉センター(渋川ほっとプラザ)
の1階にあります。夜間の急な発病や、けがをした時にご利用ください。



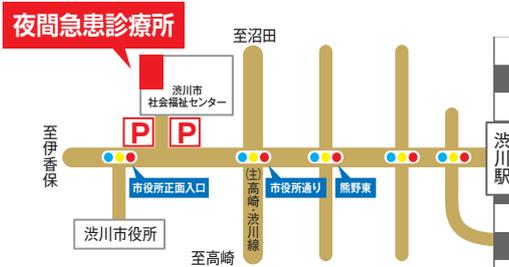
●診療時間

毎日午後7時から午後11時

●診療科目

初期診療:内科、外科、小児科

●☎23-8899



地域の皆さんの力が必要です ～消防団員募集中～ 渋川広域圏市町村では、消防団への入団者を募集しています。

消防団は、普段は自分の職業や学業を持ちながら、平常時には地域の防火・防災の担い手として、また、災害発生時には、消火・警戒などの消防活動を行い、地域の防災リーダーとしての役割を担っています。平成27年10月1日現在、渋川広域圏内では869名が消防団員として活躍しています。

1. 消防団の仕事は?

消防団は、地域で発生した火災の鎮圧や地震・風水害などの各種災害の防ぎょ活動はもちろんのこと、災害が発生したときだけではなく、災害の予防広報活動など幅広い業務を行っており、コミュニティにおける防災の中心的な役割を担っています。

2. 消防団員の身分は?

消防団員の身分は、非常勤(特別職)の地方公務員です。それぞれ自分の職業を持っている地域住民の方々が、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと、自らの意志で消防団に入団しています。

3. 消防団員の身分と入団資格

広域圏内に居住、勤務又は在学している18歳以上の人ならば、男性でも女性でも入団できます。

4. 入団を希望される方のお問い合わせ先

渋川市消防団	渋川市役所	防災安全課	☎22-2130
吉岡町消防団	吉岡町役場	町民生活課生活環境室	☎54-3111
榛東村消防団	榛東村役場	総務課	☎54-2211



許諾第27-191053号

▲群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」